

ロスナイセントラル換気ユニット 住宅用

形名

VL-25ZM

取扱説明書

お客さま用

■正しく安全にお使いいただくためにこの説明書をよくお読みください。なおご使用前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。

■お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

お客さま自身では取付けないでください。(安全や機能の確保ができません)

1. 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

	<p>可燃性ガスが漏れた場合にはスイッチを入・切しない 電気接点の火花により爆発する原因。 窓を開けて換気する</p>	 指示に従い 必ず行う	<p>交流 100V で使用する 直流や交流 200V を使用すると火災や感電の原因。 異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して分電盤のブレーカーを切り、ご販売窓口にご相談 異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因。 外気の取り入れ口は、「ガス機器の設置基準および実務指針」に基づいて燃焼ガス等の排気を吸い込まない位置にあるか確認する 新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因。 浴室など湿気の多いところに取付けられていないか確認する 感電やけがの原因。</p>
	<p>製品を水につけたり、水をかけたりしない 火災や感電の原因。</p>		
	<p>改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。</p>		

注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

	<p>高温や直接炎があたったり、油煙の多い場所では使用しない 火災の原因。</p>	 指示に従い 必ず行う	<p>壁に取付けられていないか確認する 落下によりけがの原因。 電気工事は必ず電気工事店に依頼する 間違った電気工事は感電の原因。 長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化により感電や漏電火災の原因。</p>
	<p>運転中は、本体内部で羽根が回っているため、物を入れない けがの原因。</p>		

2. ご使用前のお願い

■改正建築基準法において必要とされる換気量を満たす 24 時間換気対応商品ですので、下記の場合以外運転を一時停止させないでください。

(一時停止後は必ず運転を再開させてください)

- 吹雪や台風などのような雪や風、雨の強いとき
- 霧の多いとき
- 清掃・点検時

■この製品の運転にはコントロールスイッチが必要です。コントロールスイッチの位置をご確認ください。付いていない場合はご販売店へご相談ください。

■日常のお手入れが必要なフィルターボックス、排気側室内グリルの位置をご確認ください。

■システム部材の壁掛型フィルターボックス (P-100FBKL) と組み合わせてご使用になる場合、フィルターボックスの点検・清掃の際には必ず換気ユニット本体の運転を一時停止させてください。(点検・清掃後運転を再開させる。)

■排気側室内グリルには 1 インチ (25.4 mm) 当たり 42 ～ 52 個以上の網目を有するほこり取りフィルターを設けてあることをご確認ください。ほこり取りフィルターがない場合、熱交換器の目つまりや、風量低下の原因になります。設けられていない場合はご販売窓口へご相談ください。

■新築住宅で建材からの発湿量が多いと結露の発生のおそれがありますので、運転モードの切換え、窓の開放を行って室内の湿気を排出してください。

3. 特長

■住宅とロスナイ換気扇

現在の住宅は気密性・断熱性が向上し、低エネルギーで快適な空間が得られるというメリットがあります。その反面、換気不足によって発生する室内空気の汚染・結露などが住まいを傷めたり、健康を害するカビ・ダニの発生にもつながります。

高気密・高断熱住宅において、快適な居住空間を維持するためには、**「24時間常に換気を行うことが必要です」**

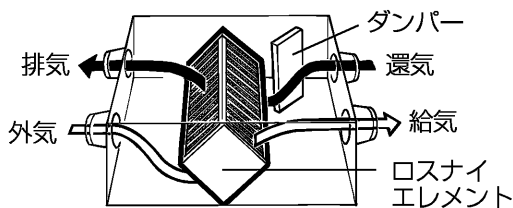
■システムの特長と効果

- 1 ロスナイセントラル換気システムは、「換気の際に捨てられてしまう室内の暖かさや涼しさを再利用（熱回収）する」省エネ換気システムです。
- 2 給気用と排気用2つのファンを装備しているので（強制同時給排方式）、「建物の気密度によらず安定した換気が確保」できます。
- 3 ダクト接続方式により離れた場所に取り付けられた給気口と排気口とで、「住宅全体に効果的な換気経路を実現」します。
- 4 給気・排気とも一台の機器で行うので、各部屋個別に機器を設置する方式より、「点検・メンテナンスが効率的」です。

「ロスナイ換気」と「非熱交換換気」とは

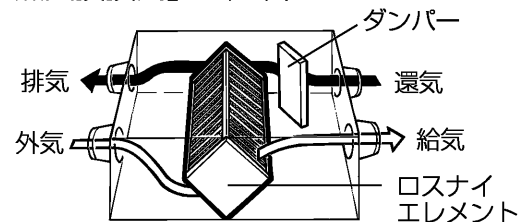
●「ロスナイ換気」とは……

室内空気をロスナイエレメントを通して室外に排気します。熱交換された外気が室内に供給されます。冷暖房をしている夏・冬には「ロスナイ換気」で運転します。

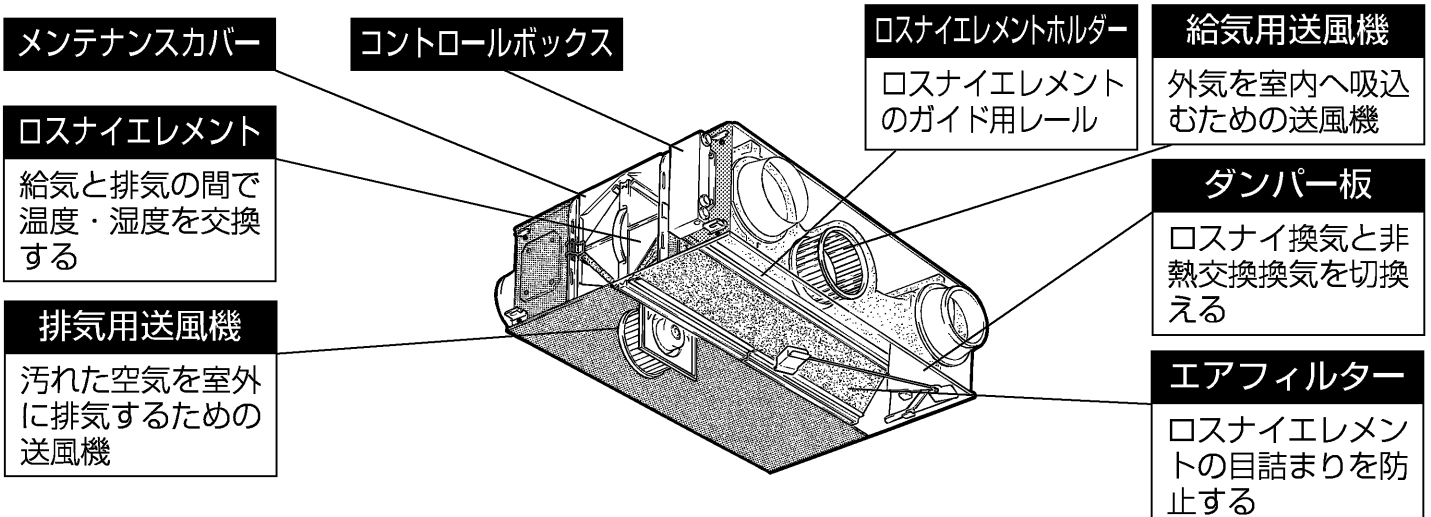


●「非熱交換換気」とは……

室内の汚れた空気をロスナイエレメントを通さずそのまま排気します。室内の熱気の排出や熱交換を必要としない春・秋には「非熱交換換気」で運転します。



各部のなまえとはたらき

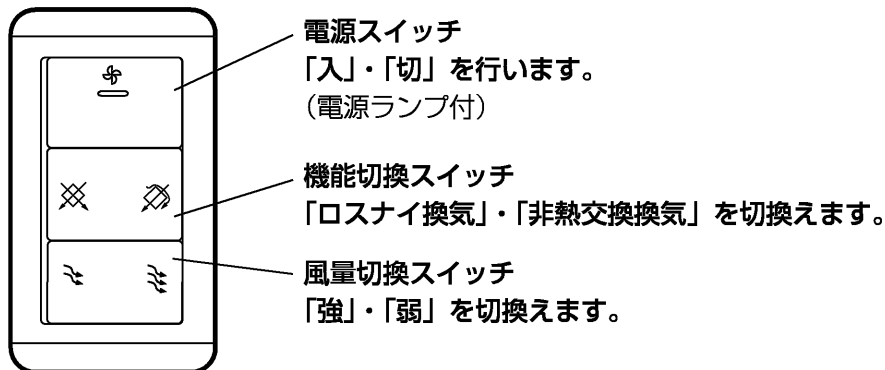


4. ご使用方法

熱交換換気ユニットは常時換気によって効果を発揮しますので、連続運転をしてください。

運転のしかた システム部材のコントロールスイッチ（P-1600SWLB など）にて行います。

各部のなまえ



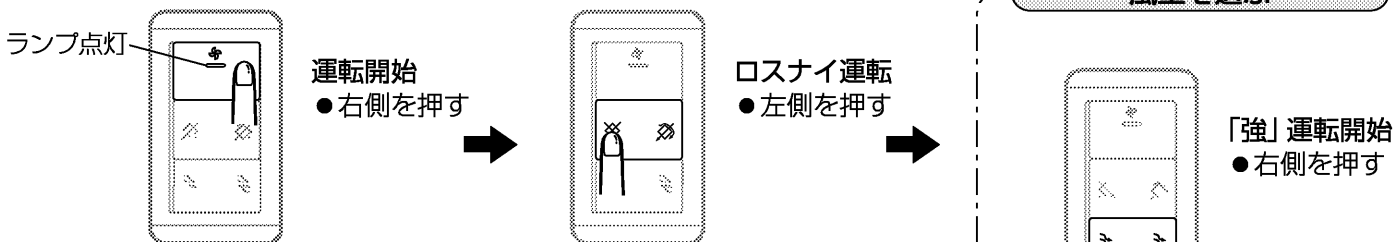
※図は P-1600SWLB を示す。

メモ

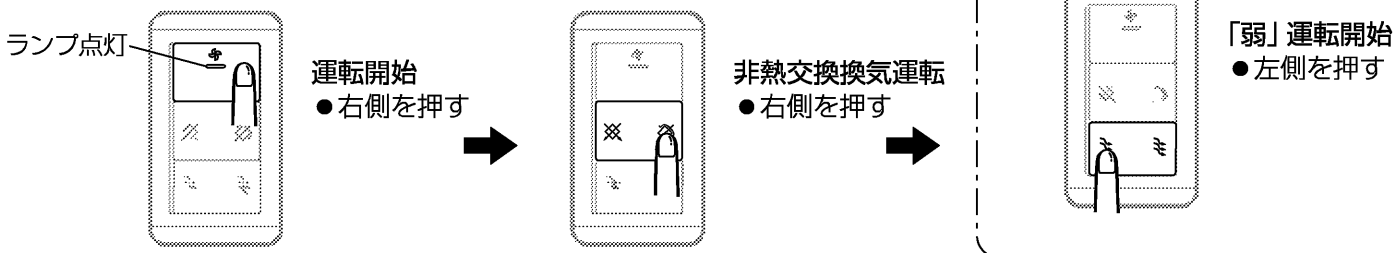
- 使用初期にロスナイエレメントのにおいが出る場合がありますが、異常ではありません。
- 同梱のシール **24時間連続換気してください** をコントロールスイッチのパネルに貼り付けてください。

使用方法

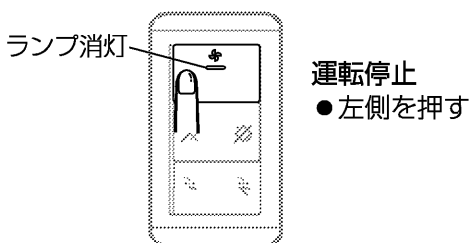
ロスナイ換気するには



非熱交換換気するには



運転停止するには



5. お手入れ

日常のお手入れが必要なフィルターボックス、排気側室内グリルは、各々の取扱説明書に従って清掃してください。

ロスナイ本体のエアフィルターは、付着したごみ・ほこりを定期的に点検して、必要に応じて清掃してください。

製品内にもごみ・ほこりがたまっている場合は、フィルターボックス、排気側室内グリルのフィルターを点検して製品内も清掃してください。

点検の目安 エアフィルター……………1年に1回程度
(汚れの程度に応じて清掃回数を増やしてください)

本体にシステム部材 P-25DP 断熱付ドレンパンが取付けられている場合

エアフィルター清掃時、ドレンパン内の水位を確認してください。
ドレンパン内の水位が満水近くに達しているような場合はドレン配管がつまっている可能性がありますので、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

警告

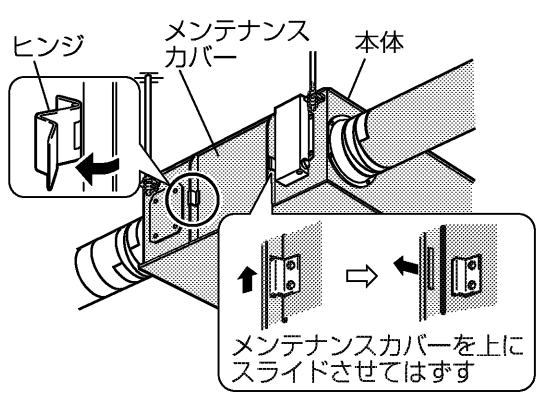
- お手入れの際は、必ず分電盤のブレーカーを切る
通電状態では感電やけがの原因。

注意

- お手入れの際は手袋を着用する
着用しないとけがの原因。

各部品のはずしかた

1



*図は天地正取付けを示します。
実際の取付けは左図と上下逆になっている場合があります。

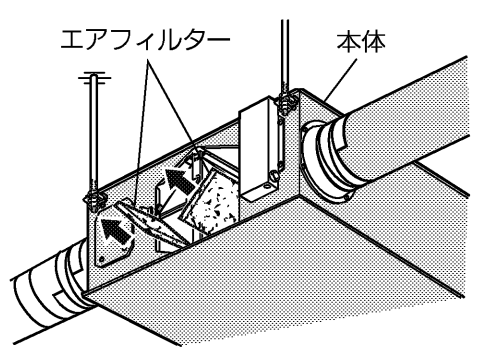
1. メンテナンスカバーをはずす

ヒンジをはずしてメンテナンスカバーを開いて引掛部から取りはずす。

お願い

- お手入れ前に分電盤のブレーカーを切り、運転の停止を確認してください。
- 点検口からお手入れする場合は脚立等安定した架台に登り、行ってください。
- メンテナンスカバーを90°開いてから取りはずしてください。

2



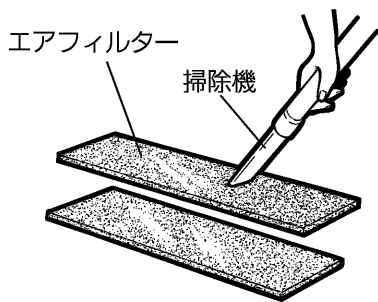
2. エアフィルターを引き出す

ロスナイエレメントの左右に1枚ずつ入っているエアフィルター(2枚)を引き出す。

5. お手入れ つづき

各製品の清掃のしかた

1



1. エアフィルターの清掃

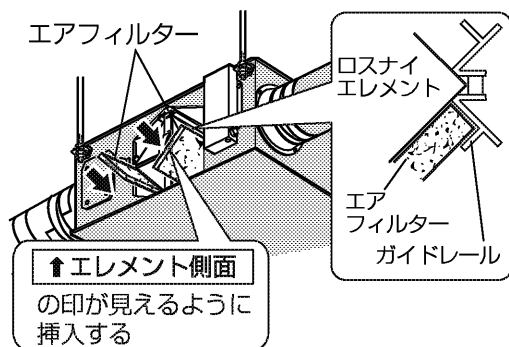
掃除機でほこりを吸い取る。
汚れのひどい場合は、水またはぬるま湯（40℃以下）
に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かす。

お願い

- 熱湯で洗ったり、もみ洗いはしないでください。
- 直接火にあてて乾かさないうでください。

お手入れ後の組立てと確認

……取りはずしと逆の順序で取付ける。

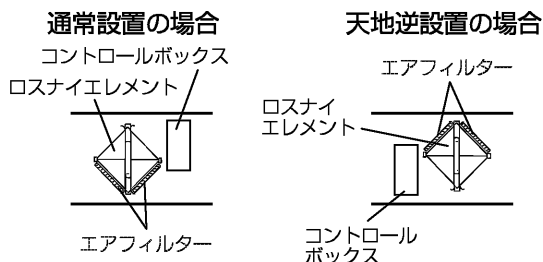


1. エアフィルターの取付け

エアフィルターを「↑エレメント側面」の矢印側にエレメントがくるようにガイドレールにそって元通り取付ける。

お願い

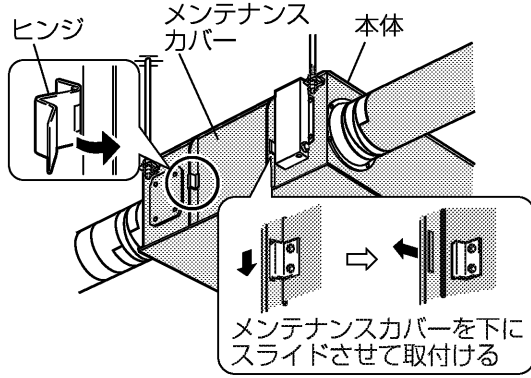
- メンテナンスカバーはズレ、浮きのないように取付けてください。



メモ

- 本体ユニットの機能を長く維持していただくために、エアフィルターに付着したごみやほこりを定期的（1年に1度以上、汚れの多い場所ではより短い期間）に清掃してください。
- 交換用のエアフィルターが交換部品として用意されていますので古くなったエアフィルターは交換してください。エアフィルターの交換は以下の状態を目安にしてください。
(交換用エアフィルター形名：PZ-25RF7)
①エアフィルターを清掃しても汚れが落ちない（黒いまま）場合。
②エアフィルターが部分的に薄くなった場合。
- エアフィルターは、外気に含まれる粉じん、砂じん、花粉など10μm (0.01m) 以上の粒子を約80% (質量法) 取り除いて、きれいな空気を室内へ取り込みます。このため一部の小さな粒子や虫などが通過する場合があります。より捕集効果を高めるためにはフィルターボックスなどのご使用をお勧めします。
- 虫の発生が多い地域では本体内に虫が侵入しますが異常ではありません。その際は掃除機等で吸い取ってください。

2



2. メンテナンスカバーの取付け
メンテナンスカバーを元通りに取付ける。

6. 故障かな？と思ったら

次のような症状があれば点検してください。点検をしても直らない場合、また下記以外の現象が生じた場合は、必ずブレーカーを切ってからご販売店または、工事店にお申しつけください。

こんなとき	原因	処置
運転しない	コントロールスイッチの電源スイッチが「入」になっていますか？	「入」にします。
	ブレーカーが切れていませんか？	
コントロールスイッチの操作と動作が違う	誤結線です。	販売店または工事店へ確認します。
換気量が少なくなった	フィルターボックスが設置されている場合、フィルターボックスのフィルターが目づまりしていませんか？	フィルターを清掃します。
	換気ユニットのエアフィルターが目づまりしていませんか？	
	排気グリルのフィルターが目づまりしていませんか？	
運転中に異常音や振動がする	—————	運転を停止し、販売店または工事店へ確認します。
こげ臭いにおいがする	—————	運転を停止し、販売店または工事店へ確認します。

7. アフターサービス

三菱ロスナイセントラル換気ユニットのアフターサービスは、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

長年ご使用いただくためにはロスナイセントラル換気ユニットのメンテナンスが必要です。

■点検整備のおすすめ

数年間使用すると、下記のようなことが発生する可能性がありますので、専門家による点検整備をおすすめします。

- モーター寿命による異常音の発生
(モーター・エレメントは消耗部品です。異常が発生した場合はただちに交換してください)
- 本体内のエアフィルターの目詰まりによる換気量の低下
(エアフィルターは消耗部品です。汚れが落ちない場合や部分的に薄くなった場合はただちに交換してください)

■補修用性能部品の保有期間 (ロスナイセントラル換気ユニットは換気扇に準じます)

当社はこの換気ユニットの補修用性能部品を製造打切り後6年保有しています。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。


ただし、その後4年間は補修用同種部品をまたは交換可能な同種製品などを供給します。

8. 仕様

形名	電圧 (V)	周波数 (Hz)	ノッチ	消費電力 (W)	定格風量 (m³/h)	定格機外静圧 (Pa)	交換効率 (%)			騒音 (dB) 本体直下1.5m	質量 (kg)
							温度	エンタルピ			
								暖房時	冷房時		
VL-25ZM	100	50	強	114	230	106	79	71	66	29.5	21
			弱	91	205	84	81	74	67	28.5	
		60	強	137	250	125	78	70	65	32	
			弱	113	220	97	80	72	66	29.5	

※上記値はJIS規格 (JIS B 8628) に基づいて測定した値です。

※騒音値は、製品から1.5mでの測定値ですが、お部屋の構造によって上記値より高くなる場合があります。

愛情点検	☆長年ご使用の換気扇の点検を!	
	<p>ご使用の際このようなことはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを入れても羽根が回転しない。 ●運転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅いまたは不規則。 (モーターはメンテナンスが必要な部品です) ●こげ臭いにおいがする。 ●本体取付部に腐食、破損等がある。 	<p>使用中止</p> <p>故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。 点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。</p>

お客さまメモ サービスを依頼されるとき便利です。	形名			
	お買上げ年月日	年	月	日
	お買上げ店名 (住所) (電話番号)	() _____		

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。

(材質名は主材料にISO) 規定の略号を使用

